

共同の力で、いのちと人権を守りぬこう！ 憲法と平和を守り、いかそう！

北海道民医連ニュース

2015. 7. 8

二日間で3000筆の署名届く！！ 全道から署名ハガキに怒りのメッセージ！



←メッセージが書き込まれた署名ハガキ
↓西区病院・渋谷事務長
(7日、紀伊国屋前)



7月1日付け友の会新聞に折り込まれた署名ハガキが続々と戻ってきています。6日(月)、7日(火)の二日間で、勤医労と道民医連に届いた署名は、合わせて3千筆余にのぼり、その多くは、安倍政権への怒りの声とともに「子どもたちのために、絶対に戦争は止めて」との切実な思いがびっしりと書き込まれています。

<メッセージの一部を紹介します>

- 母として、戦うために産み育てたのではありません。心も身体にも傷がつく、そんなところに行かねばならない法案はもっともっと考え、話し合って結論を出すべきです。(帯広市)
- 戦争からはうらみ、憎しみ、自由が奪われるなど、苦しいこと、つらいことばかり。(中略) どうかやれば他の国と良い関係に向かっているのか、本当に真面目に考えれば戦争などしなくてすむ。(釧路市)
- 息子が戦争に行くことになりでもしたら、と考ただけで眠れなくなります(旭川市)
- 戦うという前提に立っての平和主義は、またあの悲惨な戦争を繰り返すだけ。戦争になれば誰ひとり幸せになれない。安倍自民党、それに同調する公明党は平和の名をかたる偽りの政党だ(遠軽町)
- 戦争を知っている自分たちの世代が立ち上がらなければ。未来の子供たちの命を守ろう。(札幌市)

強行採決に突き進もうとする安倍首相に「国民の声」でストップをかけるために、署名活動を強めましょう。各院所・事業所・職場でも患者さん・利用者さんに訴えて署名を集め、国会に届けましょう！

★署名目標は「職員一人10筆」です。身近なところから声かけ合っ集めよう！！

本日午前、道民医連・堺会長名の要請書を持って、道医師会と道保険医会に「戦争法制案への態度表明」を求める申し入れに行きます(看護協会は断られ、郵送することに…)。各法人・院所からも各方面にアピールを送ろう！！